



第70号

まちづくり来ぶらり

まちづくりライブラリー

全国に誇るまちづくりの専門図書館です。名古屋市の戦災復興に関する資料や都市計画関連図をはじめ、都市計画概要などの行政資料、建築・交通・環境などの図書、研究機関・シンクタンクなどの調査研究報告書などを収集しています。

特集 服部孫兵衛家住宅

有松は1608年（慶長13年）に旧東海道の池鯉鮒と鳴海の間に合宿として開かれました。阿久比から移住した竹田庄九郎らにより、有松絞りが完成され、尾張藩主にも献上されたため、藩の手厚い庇護の下にめざましい発展を遂げました。

しかし、1784年（天明4年）に大火が起こり、村の大部分が焼失しました。大火後の復興では、絞り問屋を中心に従来の萱葺を瓦葺に改め、漆喰による塗籠造りや卯建を取り入れた防火構造でつくられました。現在みられる重厚な商家の並ぶ有松の町並みは、この頃形成されたと考えられます。

服部孫兵衛家住宅は、名古屋市が指定する有松町並み保存地区にあり、向かい側にあった大井桁屋服部家から分家し、創業した絞り問屋で、屋号を井桁屋といいます。

屋敷地は、旧東海道に面して広い間口を有し、中央部に2階建ての主屋を配し、井戸屋形、土蔵、門などあわせて11棟が1964年（昭和39年）に愛知県指定有形文化財に、1992年（平成4年）に名古屋市都市景観重要建築物として指定され、有松を代表する建物です。



現在、名古屋市では、有松の古い町並みを活かしたまちづくりを進めるために、伝統的建造物群保存地区の指定を検討するなど、地域と行政が連携しながら町並み保存、形成していくルールづくり、あわせて住民や地域が主体となって個々の伝統的建造物の保存、活用していく仕組みづくりに取り組んでいます。

◆参考文献 ※()内はまちづくりライブラリーの請求記号です。
『愛知県史 別編 文化財1建造物・史跡』 愛知県史編さん委員会／編 (2C40-2006)
『名古屋市都市景観重要建築物・工作物』 名古屋市計画局都市計画部都市景観室／編 (2B11-93)
『愛知の文化財めぐり』 愛知県教育委員会／編著 (Sc-A)
『名古屋市歴史まちづくり戦略 「語りたくなるまち名古屋」の実現をめざして』
名古屋市住宅都市局まちづくり企画部歴史まちづくり推進室／編 (2B18-2011)

まちづくりライブラリー資料展

「名古屋の運河をめぐる堀川と中川運河」展
2014年11月28日(金)～2015年3月25日(水)



堀川と中川運河をテーマに2つの運河が名古屋に果たした役割と名古屋の貴重な水辺である運河を中心としたまちづくりに焦点をあて、関連資料とパネルの展示を行っています。

次回資料展予告

2015年3月27日(金)～6月24日(水)
「資料から読み解く 一災害・防災一」

職場体験・インターンシップの受入

志段味中学校、久方中学校、はとり中学校の生徒が、まちづくりライブラリーにて図書・雑誌に関する業務、受付業務等を体験しました。また、春季インターンシップとして、名古屋市内の2大学から2名の学生の受入を行っています。

お気に入りの一冊

『中小都市のB級グルメ戦略』

近年ではリーズナブルで庶民的でありながら、その素材や味付けに地域の特色を凝らした料理「B級グルメ」がトレンドとなっています。また食べるだけでなく、その料理を生かした地域の活性化も盛んに行われています。その中でも本書では、人口減少や高齢化、基幹産業の疲弊などの諸課題を抱える中小都市が、B級グルメを用いて活性化させる取り組みを地域の具体例とともに紹介しています。

事例の一つに大分県佐伯市の「ごまだしうどん」が紹介されています。すりつぶしたごまと白身魚のほぐした身を混ぜてしょうゆを入れた「ごまだし」と呼ばれる調味料がベースのうどんですが、佐伯市ではこのごまだしを地域ブランド化して全国にPRしています。地元企業28社が加盟する「佐伯ごまだしの会」を発足させ、商品化したごまだしを全国各地のグルメイベントで販売し、「佐伯ごまだし食べ歩きラリー」と題したイベントでは、加盟店でごまだしうどんを食べるともらえるシールを集めて、有田焼のお碗や佐伯だしがもらえるイベントも開催しました。ごまだしのPRで地域の認知や新たな名物を作り出し、活性化を図る一例です。

これを含めて10の自治体の詳しい事例やB級グルメの課題やあるべき姿も考察されています。B級グルメの成り立ちや地域のつながりが丁寧に記されているので、B級グルメ初心者にも十分に理解できる一冊です。(I)

著者：関満博
出版社：新評論
請求番号：cf-セ

